

# 夜間に特化した 実験型交通安全講習会『セーフティラボ』初開催

## 反射材の活用や、自転車前照灯の点灯徹底を呼びかけ

JAF（一般社団法人日本自動車連盟）大阪支部（支部長 白土貴久）は、9月8日（月）新企画となる夜間に焦点を当てた交通安全講習会『セーフティラボ』を同支部地下会議室にて開催しました。

これは、平成26年「秋の全国交通安全運動」に先がけて行われたもので、重点項目となっている「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」を目的としたものです。

JAFユーザーテスト『見えない！止まらない！ロービームの限界を知る』やドライブレコーダーの映像を使った座学の後、色による視認性の違いや、反射材の着用効果を実際に体験していただきました。さらに薄暮時の早期ヘッドライト点灯の推奨を呼びかけ、約1時間の講習会を終了しました。

参加者からは、「反射材の効果を実感でき、とても参考になった」などの声が寄せられました。

JAF大阪支部は、今後もさまざまな視点から学べる講習会を企画し、活動を行ってまいります。



【動画を用いて夜間運転時の注意点を説明】



【夜間の色の見え方について実験】



【反射材を身につけ効果を確認】

●このリリースに関するお問合せは、JAF大阪支部(担当:山野・綾木)まで  
Tel 072-645-1300(月～金 9:00～17:30)